

# あゆむ

## 認知症事故賠償訴訟を考える

愛知県で認知症の男性が電車にはねられ死亡した事故を巡る裁判で、最高裁判所は、「家族に監督義務があるかどうかは生活の状況などを総合的に考慮すべきだ」という初めての判断を示し、今回のケースでは監督義務がなかったとして家族の賠償責任を認めない判決を言い渡しました。認知症の人が事故を起こした時の家族の責任について最高裁が判断の基準を示したのは初めてで、高齢化が進む中、認知症などの介護の現場に広く影響を与える判決となりました。

この判決について、全国組織「認知症の人と家族の会」の高見国生代表理事は、「私たちはこれまでさまざまな方法で家族の大変さ、認知症の実態を裁判官に訴えてきましたが、それが通じたと思っています。法律家に認知症の問題を理解してもらえたことに感謝し、敬意を払いたいと思います」と述べています。

警視庁によりますと、徘徊などで年間約1万人の人が行方不明になっていると発表しています。

また損害保険各社の間では、認知症の人が起こした事故で家族が賠償を求められる場合に備えて、補償の対象を広げる動きが広がっています。

厚生労働省は「新オレンジプラン」と呼ばれる、認知症の医療と介護の計画を策定しました。認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう認知症の人を支える医療と介護の充実や治療など研究開発の推進、それに認知症の本人やその家族の視点を重視し政策に反映させることなどが盛り込まれています。

今回のこの出来事からも、地域の中で認知症の人と家族が安心して暮らせるよう、街ぐるみで認知症の人を見守る視点が求められるのではないのでしょうか。



### ミニ講座

### 軽度認知障害(MCI)と認知症予防について

#### 1. 軽度認知障害 (MCI) とは？

健常者と認知症の人の間の中間段階（グレーゾーン）にあたる症状に、MCIがあります。

#### 2. MCIになるとどうなるの？

MCIを放置すると、認知機能の低下が続き、5年間で約50%の人は認知症に進行すると言われています。

#### 3. MCIと診断されたら.....

診断されたから必ず認知症になるとは限りません。認知機能の低下に対する適切な対策を行うことで、発症しないままでもいられることもあります。

#### 4. 早期発見の重要性

MCIの段階で認知機能の低下にいち早く気づき、予防対策を行うことで症状の進行を阻止することはとても大切で認知症の症状が最後まで出ずにすむケースもあります。

#### 5. 認知症は予防できる？

認知症になりにくい生活習慣を行い、認知症で落ちる3つの能力を簡単なトレーニングで鍛えることが大事です。

#### 6. 認知症になりにくい生活習慣

食習慣や運動習慣を変え、対人接触や知的行動習慣を意識した日々を過ごすことが重要です。

#### 7. 認知症で落ちる3つの能力の鍛え方

「エピソード記憶、注意分割記憶、計画力」これらを用意して重点的に使い、認知機能低下を予防しましょう。

## ★シリーズ★ 認知症最新ニュース

週に1回以上魚介類を食べることがアルツハイマー病の予防につながるという研究報告が発表されました。アメリカで過去、認知症を罹患し死亡した554人の脳解剖をした結果、週に1回以上魚介類の摂取を行なっている人のみにアルツハイマー病の病理所見減少効果が確認されました。これによって食生活がアルツハイマー病の予防と何らかの関係を持っている可能性が浮上しました。食生活全体のバランスを整えた上で魚介類を食事に取り込む事により、アルツハイマー病の予防に効果を発揮するのかもしれませんが。

### ..... 活動予定 .....

☆ つどい定例会 (対象：正会員・一般介護者)

・4月20日(水) 13:30~15:00

※会場：小佐野コミュニティ3階

☆ 認知症の人とあゆむ会総会・講演会

(対象：総会は正会員と準会員のみ・

講演会は一般可)

・5月下旬予定

総会 13:00~13:20

講演会 13:30~14:30

※会場：アミーガはまゆり地域交流スペース

